

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第67号	
事故等種類	施設損傷	
発生日時	平成21年3月4日 14時00分ごろ	
発生場所	長崎県西海市大島町寺島地区土砂仮置場 (概位 北緯33°02.5′ 東経129°38.3′)	
事故等調査の経過	平成21年5月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	石材運搬船 なみよし、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	136388、有限会社平松海運	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船舶：なし 施設：陸上のバックホウの油圧シリンダ損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、土砂置場岸壁に着岸して自船のクレーンのバケットで土砂積込み作業中、平成21年3月4日14時00分ごろ、同バケットが岸壁で繰り出し作業をしていたバックホウに接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、着岸してクレーンのバケットで土砂積込み作業中、本船側と岸壁で繰り出し作業をしていたバックホウの運転手とが、作業状況の確認を適切に行っていなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が大島町所在の土砂置場岸壁に着岸してクレーンのバケットで土砂積込み作業中、本船側と岸壁で作業中のバックホウの運転手とが、作業状況の確認を適切に行っていなかったため、本船のクレーンのバケットがバックホウに接触してバックホウが損傷したことにより発生した可能性があると考えられる。	